

第78号 平成27年4月24日発行

発行元:国土交通省 総合政策局

総務課(総合交通体系グループ)



総合交通メールマガジンとは

Topics

◆豊橋市におけるモビリティ・マネジメントの取組みについて

(豊橋市 都市計画部 都市交通課 山口雅己)

◆金沢市公共レンタベビーカー「ベビのり」事業について (まちのり事務局 五島真由美)



総合交通体系グループだより

◆「オープンデータによる歩行者移動支援サービスの普及促進に向けた提言」がま とまりました。

(国土交通省 総合政策局 総務課)

Infomation

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい!
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集!!
- ◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。







総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く 紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購 読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成した ものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

topics

◆豊橋市におけるモビリティ・マネジメントの取組みについて

(豊橋市 都市計画部 都市交通課 山口雅己)

愛知県の南東部に位置する豊橋市では、公共交通を軸とした集約型都市構造の実現により、自家用車に頼らなくても誰もが自由に移動でき、快適に過ごせるまちづくりを目指しています。市内は豊橋駅を中心とした放射状の公共交通路線網が形成されているものの、公共交通の利用者は昭和 40 年頃をピークに大きく減少し、平成 23 年度の調査では、代表交通手段の約 70%を自動車が占める結果となりました。

平成 16 年3月に策定した都市交通ビジョンで掲げた過度に自動車交通に依存しない交通体系を構築するため、公共交通の利便性向上施策と併せて平成 18 年度からモビリティ・マネジメントに取り組んできました。

その中から、本稿では豊橋市役所において、平成22年度よりスタートし、通勤用自転車の購入費用補助や自転車通勤者の通勤手当引上げなどの取組みを行った「とよはしエコ通勤運動」と、平成24年度からスタートした静岡県との県境地域に立地する事業所とのエコ通勤の取組みについて紹介します。

《記事はこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1504toyohashi1.pdf http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1504toyohashi2.pdf 《豊橋市のウェブサイトはこちら↓》

http://www.city.toyohashi.lg.jp/





◆金沢市公共レンタベビーカー「ベビのり」事業について

(まちのり事務局 五島 真由美)

金沢市では、ベビーカーのシェアリングサービス「ベビのり」を実施しています。平成 24 年度に社会実験としてスタートし、平成 25 年度から本格実施となり、平成 27 年度も引き続き実施予定です。実施主体は、金沢市ですが、全体の運営・管理をまちのり事務局が担っています。

ベビーカーは、どのポートでも貸出・返却が可能で、借りた場所と別のポートでも返却できることが大きな特徴です。ポートは、平成 26 年度は8箇所設置し、各所に2~4台のベビーカーを配備しています。平成 26 年度の利用は延べ 580 回、1 日平均利用回数は 2.4回/日でした。平成 26 年度はベビのり利用者によるフォトコンテストも実施し、楽しみながら利用してもらえるきっかけとなりました。

事業開始から3年が経過し、利用者数は年々増加しています。今年3月に北陸新幹線が 金沢まで開業し、子供連れの旅行者増加でベビのりも需要増加が期待されています。今後 もより快適・便利に利用していただけるよう努めていきます。

《記事はこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1504bebinori.pdf
《まちのりのウェブサイトはこちら↓》

http://www.machi-nori.jp/



総合交通体系グループだより

◆「オープンデータによる歩行者移動支援サービスの普及促進に向けた提言」 がまとまりました。

(国土交通省 総合政策局 総務課)

国土交通省では、高齢者や Challenged (障害者)、外国人旅行者なども含め、誰もが必要に応じて移動に関する情報を入手し、積極的に活動ができるユニバーサル社会の構築に向け、ICT (情報通信技術)を活用した歩行者移動支援の取組を推進しています。折しも、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が決定されたところであり、これを当面の目標に据え、産官学が連携して ICT を活用した歩行者移動支援サービスの一層の普及促進に取り組んでいるところです。

今般、「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」において、今後の普及促進を図るために必要な事項を検討いただき、提言をとりまとめていただきましたので、お知らせします。提言は、オープンデータの必要性や可能性、オープンデータによる歩行者







移動支援サービスの普及促進に向けた国を始め関係者の果たすべき役割等の内容で構成されています。

提言を踏まえ、国土交通省では、国等が保有する歩行者移動支援に資するデータを率先して積極的に公開するなど、歩行者移動支援施策の普及促進に向け取組を進めるとともに、 市町村向けのオープンデータ環境における歩行者移動支援の普及促進に向けたガイドラインの策定・公表も予定しています。

《「オープンデータによる歩行者移動支援サービスの普及促進に向けた提言」はこちらから↓》 http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23 hh 000046.html



Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい!

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL: http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls 引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail: hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集!!

当課では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせて頂きます。(情報提供はこちらまで hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、

- 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み(交通の再編等)
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など





※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させて頂きました。 バックナンバー一覧:

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。(連絡先の追加でも結構です)

なお、変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail: hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課(総合交通体系グループ) 樋口 尚弘

TEL:03-5253-8111(内線53-113)

FAX: 03-5253-1675

E-mail: hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

URL: http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html

※ 総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました。













